

事務事業名		消防用機械器具整備事業		所属部	総務部	所属課	危機管理室			
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	危機管理G	課長名	安部昭彦			
	施策名	(17)消防・防災対策の推進		担当者名	山根 智憲	電話番号	0854-40-1027			
	目的対象	市民	意図	生命・財産を火災・災害から守る。						
	基本事業名	(051)防火施設と消防体制の充実		予算科目	会計	款	大事業	大事業名		
目的対象	市民	意図	火災等に対応できるように施設・体制を整備する。				中事業	中事業名		
				0	1	4	5	0	3	消防施設整備事業
				0	5	1	5	0	2	消防機器整備事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	消防ポンプ車、小型ポンプ積載車などを整備する事業。 更新計画により毎年更新が必要であり、基本的に20年以上経過した車輛、ポンプから更新をしている。 車両・ポンプやホースタワーなどの修繕もを行っている。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動) 消防ポンプ自動車更新 1台 小型ポンプ付普通積載車更新 1台 小型ポンプ付軽積載車更新 1台 ホースタワー等の修繕 1箇所 小型ポンプの修繕 3台 消防車両修繕 1台	29年度計画(29年度に計画する主な活動) 小型ポンプ付普通積載車2台、小型ポンプ付軽積載車2台の更新を予定している。 また、必要な修繕を行う。																													
	② 活動指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 消防車等整備台数</td> <td>台</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>イ 施設改修件数</td> <td>件</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ウ 車両修繕</td> <td>件</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>エ 小型ポンプ修繕</td> <td>件</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	ア 消防車等整備台数	台	2	4	3	4	イ 施設改修件数	件	2	1	1	0	ウ 車両修繕	件	1	0	1	1	エ 小型ポンプ修繕	件	2	2	3	2
	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)																											
ア 消防車等整備台数	台	2	4	3	4																											
イ 施設改修件数	件	2	1	1	0																											
ウ 車両修繕	件	1	0	1	1																											
エ 小型ポンプ修繕	件	2	2	3	2																											

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
	ポンプ車、小型ポンプ積載車	ア	ポンプ車・小型ポンプ積載車の数	台	96	96	95	95
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)		
火災時に円滑な消防活動ができる	ア	機械器具等の修繕件数	件	5	3	5	3	
	イ							
	ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)	
消防ポンプ車1台の更新 18,792千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
小型ポンプ付普通積載車1台の更新 8,208千円		県支出金	千円				
小型ポンプ付軽積載車1台の更新 5,238千円		地方債	千円	13,400	24,200	29,100	28,000
小型ポンプ及び車両等の修繕 2,897千円		その他	千円				
	一般財源	千円	3,270	3,586	6,035	1,533	
	事業費計(A)	千円	16,670	27,786	35,135	29,533	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	293	447	370	
	人件費計(B)	千円	1,139	1,750	1,468		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	17,809	29,536	36,603		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
団員数が毎年減ってきていることに伴い、各方面隊ごとに機械器具を管理する団員数にバラつきがあり、機械器具の適切な管理ができないという課題がある。	平成20年度に組織検討委員会を設けて組織の見直しを検討し、雲南市消防団組織編成基準を策定し、平成25・26年度の2カ年で編成基準に基づいた編成とした。平成28年度に本部会を開催し、現状等について説明を行なった。	団の方からは、機械器具の整備(更新)について、合併前より更新スピードが遅くなったとの声がある。

事務事業名	消防用機械器具整備事業	所属部	総務部	所属課	危機管理室
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																				
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？																					
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？																					
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																				
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																					
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	分団により団員数に対し、ポンプの数・車輛の数にバラつきがあるため、消防団組織再編の検討が必要である。																			
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない																					
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	市が計画的に整備するべきである。																		
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																					
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																			
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	市が計画的に整備するべきである。																				
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない																					
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	消防団の組織検討にあわせて、ポンプ車数と小型ポンプ積載車数を減らすことにより事業費削減できる。																				
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない																					
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																			
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	年次計画により行っているため、必要最小限である。																				
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																					
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	分団により団員数に対し、ポンプの数・車輛の数にバラつきがある。																				
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である																					
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																			
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		消防車両などは旧町村により配備の基準に格差があり、消防団組織の検討に合わせ見直す必要がある。 今後は、消防団員の減少も考慮して組織再編も検討し、併せて消防機器整備も再検討する必要がある。																		
3 今後の方向性【PLAN】																						
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	向上	●			維持			×	低下		×	×
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上	●																					
維持			×																			
低下		×	×																			
消防車両などは旧町村により配備の基準に格差があり、消防団組織の検討に合わせ、見直す必要がある。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																				